資料２

地域幸福度（Well-Being）指標　客観指標のデータ誤りについて

2025/10/9

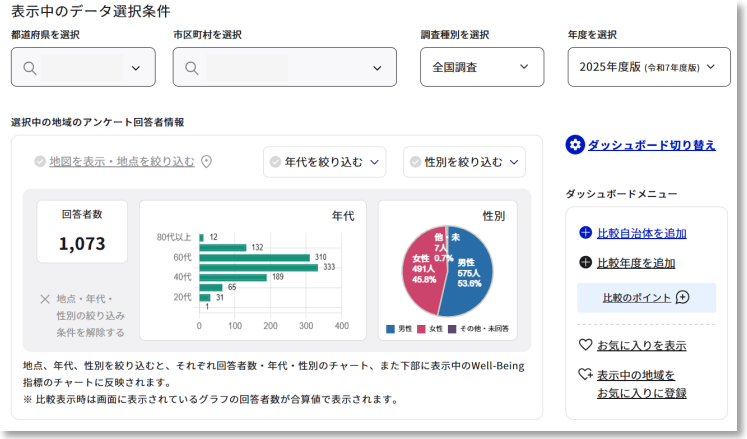
国民向けサービスグループ　デジタル公共財担当

デジタル庁
Digital Agency

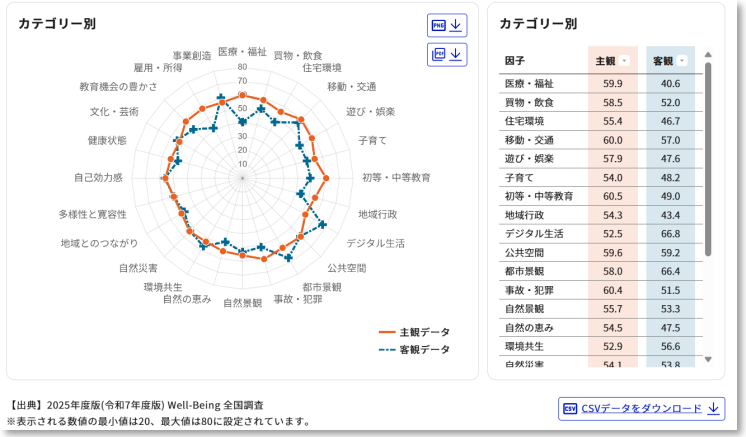
地域幸福度（Well-Being）指標の概要

- 「地域幸福度（Well-Being）指標」は、各種統計データを指標化し分野間などの比較に用いる**客観指標（統計データ等）**と、市民等へのアンケート調査結果を指標化し、時系列での比較に強い **主観指標（50問の標準アンケート）から構成。**
- **指標の計測結果はレーダーチャート（偏差値）の形で表示**し、それぞれの街の多様な性格を視覚的に表示。

○ダッシュボード

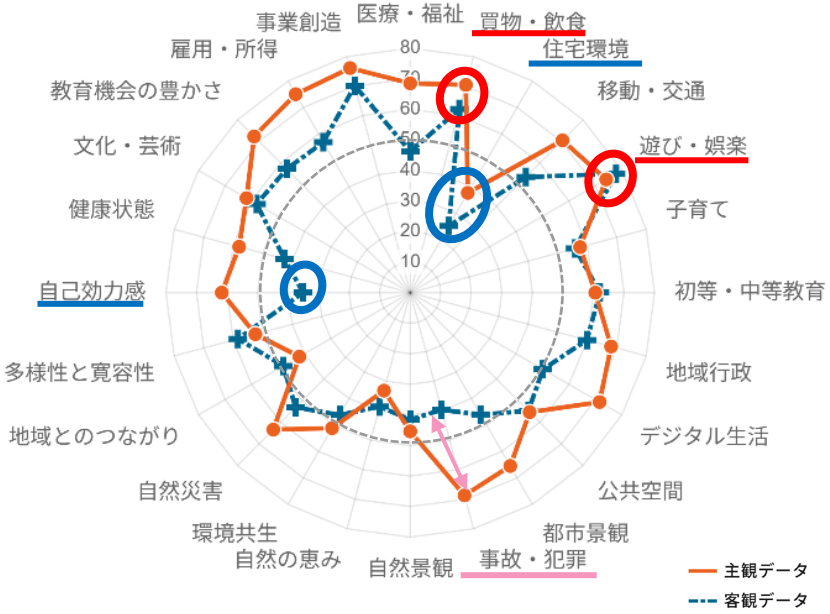


○レーダーチャート



因子	主観	客観
医療・福祉	59.9	40.6
買物・飲食	58.5	52.0
住宅環境	55.4	46.7
移動・交通	60.0	57.0
遊び・娯楽	57.9	47.6
子育て	54.0	48.2
初等・中等教育	60.5	49.0
地域行政	54.3	43.4
デジタル生活	52.5	66.8
公共空間	59.6	59.2
都市景観	58.0	66.4
事故・犯罪	60.4	51.5
自然景観	55.7	53.3
自然の恵み	54.5	47.5
環境共生	52.9	56.6
自然災害	54.1	53.8

○レーダーチャートの見方



遊び・娯楽	
客観	人口あたり娯楽業の事業所数
主観	楽しい時間を過ごせる娯楽施設がある

買物・飲食	
客観	商業施設徒歩圏人口カバー率、飲食店数等
主観	・日常の買い物に全く不便がない（利便性） ・飲食を楽しめる場所が充実している

住宅環境	
客観	住宅あたり延べ面積、一戸建て持ち家の割合等
主観	・自宅には、心地よい居場所がある（居住空間） ・自宅の近辺は、騒音に悩まされている（逆）（秩序） ・適度な費用で住居を確保できる

自己効力感	
客観	首長選挙・議会選挙の投票率
主観	自分のことを好ましく感じる（一体感）

事故・犯罪	
客観	人口あたり交通事故件数、刑法犯認知件数、空き家率
主観	・防犯対策（交番・街燈・防犯カメラ・住民の見守り等）が整っており、治安がよい ・歩道や信号が整備されていて安心である

１．現状及び今後の対応について

＜現状＞

「地域幸福度（Well-Being）指標」について、客観データの誤りが判明したため、
指標サイトのダッシュボードを7月25日（金）から一時公開停止中

（データ誤りの主な内容）

・自治体の再編対応漏れにより、「所在する県から西側かつ人口10万人未満」の全自治体で行ズレが発生（2025年度）

・一部データの扱い方に関する認識誤り（「ゼロ」であるデータを「データなし」として処理した結果、偏差値の元となる平均値に影響）（2023～2025年度）

・エクセルの関数誤りや集計ツールの一部バグ、自治体名を照合する際のデータ引用不備（「郡」の有無等）（2023～2025年度）

委託事業者及びデジタル庁において指標の確認・修正作業、再発防止策の整理が完了し、
有識者検討会（座長：武蔵野大学ウェルビーイング学部長 前野隆司教授）へ報告の上、
10月上旬に指標サイトのダッシュボードを再公開予定

2．客観データ誤りの状況（全体像） ※1,741自治体を母数とした割合

	2023年度		2024年度		2025年度	
誤差	偏差値5～9	偏差値10以上	偏差値5～9	偏差値10以上	偏差値5～9	偏差値10以上
医療・福祉	0.3%	0.0%	0.5%	0.0%	12.5%	2.0%
買物・飲食	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	3.2%	0.7%
住宅環境	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	9.8%	3.5%
移動・交通	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	12.8%	4.7%
遊び・娯楽	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	18.9%	10.5%
子育て	3.8%	0.0%	2.6%	0.1%	14.2%	2.9%
初等・中等教育	0.1%	0.0%	0.0%	0.0%	1.0%	0.0%
地域行政	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	15.9%	4.7%
デジタル生活	4.1%	0.1%	4.1%	0.0%	18.2%	3.4%
公共空間	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	21.5%	9.2%
都市景観	0.4%	0.4%	0.9%	0.7%	13.7%	13.5%
自然景観	8.2%	8.2%	60.2%	25.1%	34.6%	10.7%

	2023年度		2024年度		2025年度	
誤差	偏差値5～9	偏差値10以上	偏差値5～9	偏差値10以上	偏差値5～9	偏差値10以上
自然の恵み	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	14.1%	4.7%
環境共生	1.3%	0.0%	0.0%	0.0%	16.8%	4.9%
自然災害	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	10.0%	1.4%
事故・犯罪	2.2%	0.5%	3.1%	0.8%	21.7%	9.8%
地域とのつながり	0.1%	0.0%	0.2%	0.0%	9.3%	1.0%
多様性と寛容性	0.5%	0.1%	0.1%	0.0%	32.9%	11.0%
自己効力感	1.5%	0.2%	1.6%	0.5%	15.8%	4.4%
健康状態	24.9%	4.2%	24.9%	3.5%	44.7%	17.4%
文化・芸術	3.7%	0.0%	4.0%	0.0%	10.5%	1.6%
教育機会の豊かさ	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	11.1%	1.4%
雇用・所得	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	18.1%	6.7%
事業創造	19.6%	4.5%	15.7%	2.0%	16.3%	1.9%

2023、2024年度で、偏差値5以上の誤差がある自治体が多いのは「自然景観」「健康状態」「事業創造」の3因子

2025年度データはダッシュボード公開後まもなく停止したこともあり、影響は限定的（6/14公開、7/25停止）

2．客観データ誤りの状況（客観指標の構成）

- 客観指標は24因子に分かれており、それぞれの因子は統計資料などを引用し、100を超えるKPIから構成されている。

【因子】

カテゴリー名称		
生活環境(16)		地域の人間関係（2）
＜都市環境＞	デジタル生活	地域とのつながり
医療・福祉	公共空間	多様性と寛容性
買物・飲食	都市景観	自分らしい生き方（6）
住宅環境	事故・犯罪	自己効力感
移動・交通	＜自然環境＞	健康状態
遊び・娯楽	自然景観	文化・芸術
子育て	自然の恵み	教育機会の豊かさ
初等・中等教育	環境共生	雇用・所得
地域行政	自然災害	事業創造

【KPI】

自然景観
- 自然景観指数

健康状態
- 健康寿命（平均自立期間）（男性）
- 健康寿命（平均自立期間）（女性）
- 人口あたり精神疾患患者在院数

事業創造
- クリエイティブ産業事業所の構成比
- 新規設立法人の割合
- 従業者数あたりコワーキングスペースの数
- 大学発ベンチャー企業数
- イノベーション政策指数

- **綺麗な自然の景色があるか？**

	KPI	利用データ（現状）					SCIJ による 更新予定
		調査年	公開（更新年月）	更新頻度	出典	次回データ更新見込※	
1	自然景観指数	下段参照			（施策等の有無を1か0で表した）下段KPIの合計		下段参照
1a	国立・国定・都道府県立公園の有無	2023	随時	随時	環境省「国立公園一覧」、「国定公園一覧」	随時	2025/12
1b	「美しい日本のむら景観百選一覧」	1991	1991	不明	農林水産省「美しい日本のむら景観百選一覧」	不明	更新され次第
1c	景観重要樹木の有無	2024	2024/6	不明	国土交通省「景観法の施行状況（令和6年3月31日時点）」	不明	更新され次第
1d	重要文化的景観	2023	随時	随時	文化庁「文化的景観」	随時	2025/12
1e	美しい日本の歴史的風土100選	2006	2007	不明	国土交通省「美しい日本の歴史的風土１００選の実施」	不明	更新され次第
1f	歴史の道百選	2019	不明	不明	文化庁「歴史の道百選」	不明	更新され次第
1g	ユネスコ・ジオパーク	2025	随時	随時	日本ジオパーク委員会「ユネスコ世界ジオパーク」	随時	2025/12
1h	日本の100名山	1964	不明	不明	深田久弥「日本百名山」	不明	更新され次第
1i	自然共生サイト（30by30）	2024	随時	随時	環境省「自然共生サイト（30by30）」	随時	更新され次第

- **市民は健康であるか？**

	KPI	利用データ（現状）					SCIJ による 更新予定
		調査年	公開（更新年月）	更新頻度	出典	次回データ更新見込※	
1	健康寿命（平均自立期間）（男性）	2024/6	2024	1ヶ月	以下のデータをもとにスマートシティ・インスティテュートが算出 ・総務省　令和2年国勢調査結果「市区町村別・年齢階級別の総人口」 ・厚生労働省「令和2年市区町村別生命表」 ・厚生労働省「介護保険事業状況報告・月次」	2024	2025/12
2	健康寿命（平均自立期間）（女性）	2024/6	2024	1ヶ月	以下のデータをもとにスマートシティ・インスティテュートが算出 ・総務省　令和2年国勢調査結果「市区町村別・年齢階級別の総人口」 ・厚生労働省「令和2年市区町村別生命表」 ・厚生労働省「介護保険事業状況報告・月次」	2024	2025/12
3	人口あたり精神疾患患者在院数	2023	随時	随時	地域精神保健医療福祉資源分析データベース（ReMHRAD）「在・退院者の状況」	随時	2025/12

- **スタートアップが振興する環境があるか？**

	KPI	利用データ（現状）					SCIJ による 更新予定
		調査年	公開（更新年月）	更新頻度	出典	次回データ更新見込※	
1	クリエイティブ産業の事業所の構成比	2021	2023/6	5年	総務省「経済センサス・活動調査」より対象産業の事業数合計を「全産業の事業数」で割った。 対象産業は、「港区におけるクリエイティブ産業実態調査」に基づき、広告業、著述・芸術家業、ソフトウェア業、デザイン業、映像情報制作・配給業、音声情報制作業、出版業、建築設計、印刷業、広告制作業、民間放送業、新聞業、衣服裁縫修理業、家具製造業、旅行業を採用	2028/6	2028/12
2	新規設立法人の割合	2023	随時	随時	国税庁「法人番号公表サイト」	随時	2025/12
3	従業者あたりコワーキングスペースの数	①2024 ②2020	①随時 ②2021/11	①随時 ②5年	①コワーキング ジャパンHP ②総従業者数は総務省「社会・人口統計体系」 （原出典：総務省「国勢調査」）	①随時 ②2026/11	2025/12
4	大学発ベンチャー企業数	2023	2024/6	1年	経済産業省HP「大学発ベンチャーデータベース」	2025/6	2025/12
5	イノベーション政策指数	下段参照			（施策等の有無を1か0で表した）下段KPIの合計		下段参照
5a	共創の場形成支援プログラム(COINEXT)拠点の有無	2025	随時	随時	日本学術振興会「共創支援の場形成プログラム」	随時	2025/12
5b	地域中核・特色ある研究大学強化促進事業（J-PEAKS）採択大学の有無	2024	随時	随時	日本学術振興会「地域中核・特色ある研究大学強化促進事業（J-PEAKS）」	随時	2025/12
5c	スタートアップ・エコシステム拠点都市採択状況	2024/8	随時	随時	内閣府「スタートアップ・エコシステム拠点都市」	随時	2025/12

2．客観データ誤りの状況（指標活用自治体の状況）

- 14自治体が「総合計画」に、8自治体が「まち・ひと・しごと創生総合戦略」に客観指標を掲載
- その他、約200団体において指標を活用したワークショップ等を実施

①偏差値5以上の誤差があった因子数
②強みと弱みが逆転する因子数（偏差値50以上⇔50未満）
※網掛けは計画に掲載していない年度

総合計画		A自治体	B自治体	C自治体	D自治体	E自治体	F自治体	G自治体	H自治体	I自治体	J自治体	K自治体	L自治体	M自治体	N自治体
2023年度	①	1	1	0	0	1	1	1	0	0	0	1	2	0	2
	②	1	0	0	0	0	0	3	0	0	1	1	1	0	1
2024年度	①	2	2	0	0	2	3	1	1	2	0	2	3	1	2
	②	2	2	0	0	2	0	2	0	1	0	2	2	1	1

まち・ひと・しごと創生総合戦略		O自治体	P自治体	Q自治体	R自治体	S自治体	T自治体	U自治体	V自治体
2023年度	①	0	2	1	0	1	1	0	1
	②	0	1	0	0	2	0	0	1
2024年度	①	2	0	1	1	1	2	0	2
	②	3	0	0	0	2	0	1	2

※指標活用自治体のWEBサイトを対象に調査（2025年8月時点）

3．データ誤りの原因・再発防止策

- 根本原因は膨大なデータ量を取り扱うにも関わらず、十分な要員を確保できていなかったこと
  ※エクセル行で約37万行のデータ（1年度分）を主担当・副担当の2名で作業
- その結果、作業工程やマニュアルが不十分な状態で作業を実施していた

作業工程	誤りの原因	再発防止策（案）	
データ収集・加工 （委託事業者）	**①作業工程の不備** ・データ更新にかかるスケジュールや作業内容が不明瞭	**①工程管理とモニタリング** ・データ更新スケジュールの明確化 ・データ更新の工程ごとの進捗確認 ・定期監査の導入	**＋ 十分な要員の確保**
	②作業マニュアルの整備不十分 ・作業・スキルが属人化 ・チェック体制が不十分であり誤りを見落とし	**②作業マニュアルの再整備** ・データ取得・保存・更新、および偏差値算出の手順を文書化・精緻化 ・チェック項目や手順を明確化	
データ確認 （デジタル庁）	**③委託先の管理不十分** ・委託先に対して品質を担保するための指示体制や管理体制が不十分	**③委託の在り方・契約仕様の見直し** ・委託者としての指示や検収体制の明確化（委託契約時に、データ保存方法、算出手順、検証方法等を具体的に仕様として明記） ・データ作成のAI活用やデータベース化についても今後検討	

4．指標サイト再公開時の対応

- 指標サイトにおいて、正誤表のエクセルファイルを提供
- 指標活用自治体に対しては、個別に連絡するとともに、総合計画等への活用自治体には特に丁寧な対応（個別説明会や技術的支援の提案など）を行う

正誤表のファイル

①都道府県、自治体名を入力

②当該自治体の正誤表（24因子、個別KPI）が自動で表示
（誤りがある因子・KPIを黄色でハイライト）

都道府県	市区町村	標準地域コード
名称入力⇒		

■2023年度	因子	因子	因子	因子	因子	因子	因子	因子	因子	因子	因子	因子	因子	因子	因子	因子	因子	因子	因子	因子	因子	因子	因子	因子
	医療・福祉	買物・飲食	住宅環境	移動・交通	遊び・娯楽	子育て	初等・中等教育	地域行政	デジタル生活	公共空間	都市景観	事故・犯罪	自然景観	自然の恵み	環境共生	自然災害	地域とのつながり	多様性と寛容性	自己効力感	健康状態	文化・芸術	教育機会の豊かさ	雇用・所得	事業創造
正	43.6	50.5	46.9	55.0	47.6	48.3	48.3	43.4	65.8	57.1	67.6	52.9	53.9	47.5	57.0	53.8	48.9	54.3	62.5	49.7	49.0	50.1	43.8	56.7
誤	43.4	50.5	46.9	55.0	47.6	48.0	48.3	43.4	68.1	57.1	67.5	52.8	54.9	47.5	56.0	53.8	48.1	54.6	62.6	53.0	49.1	49.7	43.8	58.4
差分(正 － 誤)	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3	0.0	0.0	-2.3	0.0	0.1	0.1	-1.0	0.0	1.0	0.0	0.8	-0.3	-0.1	-3.3	-0.1	0.4	0.0	-1.7

	KPI	KPI	KPI	KPI	KPI	KPI	KPI	KPI	KPI	KPI	KPI	KPI	KPI	KPI	KPI	KPI	KPI	KPI	KPI	KPI	KPI	KPI	KPI	KPI
	医療・福祉	医療・福祉	医療・福祉	医療・福祉	医療・福祉	医療・福祉	医療・福祉	医療・福祉	医療・福祉	医療・福祉	買物・飲食	買物・飲食	買物・飲食	買物・飲食	住宅環境	住宅環境	住宅環境	住宅環境	移動・交通	移動・交通	移動・交通	移動・交通	移動・交通	遊び・娯楽
	医療施設徒歩圏人口カバー率	医療施設徒歩圏平均人口密度	人口あたり国民健康保険者医療費	人口あたり後期高齢医療費	特定健診実施率	福祉施設徒歩圏人口カバー率	福祉施設徒歩圏平均人口密度	人口あたり児童福祉施設数	人口あたり障害者施設数	人口あたり認知症サポーターメイト・サポーター数	商業施設徒歩圏人口カバー率	商業施設徒歩圏平均人口密度	可住地面積あたり飲食店数	人口あたり飲食店数	住宅当たり延べ面積	平均価格（住宅地）	専用住宅面積あたり家賃	一戸建の持ち家の割合	駅・バス停留所徒歩圏人口カバー率	駅・バス停徒歩圏人口密度	人口あたり小型車走行キロ	通勤通学に自家用車等を用いない割合	職場までの平均通勤時間	人口あたり娯楽業事業所数
正	57.0	47.2	40.8	22.9	24.0	55.5	46.1	49.2	48.9	44.0	57.9	46.3	49.0	49.0	43.4	52.0	53.4	38.7	60.5	47.0	59.9	54.0	53.7	47.6
誤	57.0	47.2	40.8	22.9	24.0	55.5	46.1	49.2	47.6	44.0	57.9	46.3	49.0	49.0	43.4	52.0	53.4	38.7	60.5	47.0	59.9	54.0	53.7	47.6
差分(正 － 誤)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

③エクセルファイルのため
ダウンロードも可能

デジタル庁
Digital Agency